鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第２６号　令和２年９月１６日（水）
校長室より

「心」と「心遣い」「思い」と「思いやり」

生徒諸君は、この表題を見て何を思い出し、どう考え、行動しますか。２学期の始業式で引用した、宮澤章二さんの「行為の意味」という詩を、もう一度紹介します。

…あなたの［こころ］はどんな形ですかと
ひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも［こころ］は見えない
けれど　ほんとうに見えないのであろうか

確かに［こころ］はだれにも見えない
けれど［こころづかい］は見えるのだ
それは　人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の［思い］は見えない
けれど［思いやり］はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が　あたたかい行為となり
やさしい思いが　やさしい行為になるとき
［心］も［思い］も初めて美しく生きる
…それは　人が人として生きることだ
（「行為の意味」より）

「人に対する積極的な行為」が、目には見えない自分の心情を相手に伝える。今一度「積極的」な行為とはどんな行為か、考えてみよう。「消極的」な行為を連想し、その反対の行動をイメージしてみよう。

「積極的」な行為を具現化するには、自分の内面に潜在するの意志や意欲の「芽」を顕在化させるためのエネルギーが必要である。誰かの笑顔を想像したり、目の前にいるる人の役に立ちたいと願う気持ちをエネルギーに変えて、行為という美しい「花」を咲かせなければ、相手に伝わらない。

積極的な行為・行動が、相手にとって有り難い行為と受け止められる時、あたたかい心、やさしい思いが、温かく優しい行為になって伝わる。人として大切なことは、相手の気持ちになって考え、行動することであり、その思考と行動が、私たちを「美しく」生きる人間に育ててくれる。

「グローバル化」から何を學ぶか？

現在、グローバル化「Globalization」という言葉が、国際化「Internationalization」よりも頻繁に使われています。「グローバル化と国際化の違いは何か？」考えましょう。

最初に、グローバルから類推される英単語を書き出してみましょう。「globe」＝「地球」、「glove」＝「手袋、グローブ」、「grove」＝「木立、小さな森」や「glow」＝「光を放つ」、「grow」＝「成長する」など、スペルを気にせずに、知っている単語をどんどん書いてください。耳から入ってくる「グローバル」という「音」からいろいろな言葉が派生していきます。この過程は、表音によってイメージした言葉が、類音［（grove⇔glove⇔globe）や（grow⇔glow）］を意識させ、いろいろな単語を調べるきっかけになります。とにかく思いついたこと、単語等をメモして「見える化」しましょう。

次に、見える化した単語を使った自分の「グローバル化の定義」にトライしてみます。私は、「人間の思考や行動が、小さな木立や森の息づかいを感じながら、自然の輝きに育てられ、そこに生きる人間を優しく包み込んで光を放ちつつ、地球全体に広がっていくこと」と定義してみました。

その上で用語集や辞典、ネット等を活用して違いを明確化してみましょう。一例として、ネットで調べた内容を記載します。その際、２つの用語を「視点の違いに着眼」して定義してみます。

『「国際化」は、国際間の交流によって、深い関係になっていくこと』と説明されています。特に、自国を中心にして他国を捉える二国間の関係性が根底にあります。

『「グローバル化」は、ものの移動や変化が国を越えて行われ、一体となっていくことを基本にして、地球全体を均等にみる考え方、俯瞰してみる考え方』と理解できます。

「国際化」は、視点を中心である自国に置いて他国をみること、地平から二国間の関係性をみる視点です。一方「グローバル化」は、宇宙空間から地球全体を俯瞰して、国家間の関係性をみる視点です。また国際化は、二国間の国境を前提とした関係、グローバル化は、地球全体を「ひとつ」と認識し、国境を意識しない関係で捉える考え方と言えます。

グローバル化が進展する今日、人間としてどんな素養が求められているでしょうか。これからの時代には、相手の文化や習慣を理解し、海外の常識を否定しない「寛容の精神」が必要になります。そのためには、諸外国について學ぶことはもちろん、今以上に地域探究を通して、人間が生きる「身近な足元（地域）」について、多様な人々と學び合い、柔軟な思考力を育成する学習の機会を増やしていく、仁賀保高校でありたいと思います。

★　**アイコンタクツ（ｉｃｏｎ ｔ ａｃｔｓ）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　**メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　**意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　**ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　**「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！
★　**ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、**Trial＆Error**で進めましょう！